


# 生活科学習指導案

指導者 柳井 裕美

- 1 日 時 令和5年11月18日(土) 第2校時(10:05~10:50)
- 2 学年・組 小学校第1学年1組 計32名(男子16名, 女子16名)
- 3 場 所 小学校第1学年1組教室
- 4 単 元 名 がっこうたんけん   
(タン・タン・タン)
- 5 単元について

本単元では、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて調べたり考えたりすることを通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにすることを目指している。児童は、学校で先生や友達と一緒に遊んだり学んだりして共に生活する楽しさを味わうことで、学校のことが分かり、集団の中での自分の行動の仕方を学んでいく。学校の施設の様子や学校生活を支えている人々について、自分とどのように関わっているかを考え、それらの位置や働き、存在や役割などの特徴に気づき、それらがみんなのためや安全な学校生活のためにあることの意味を見いだしていく。

本学級の児童は、日頃から休憩時間に学校探検を楽しんでおり、校内の教室の配置やそれぞれの教室で行われる学習、その場所にいる先生など、およそのことは把握している児童が多い。一方で、それぞれの場所にあるものの働きや先生などについては詳しく知らないことが多い。

指導にあたっては、5月から12月の長期にわたって扱うことで、調べたり伝えたりする活動を繰り返し行っていくことができる。関わることの楽しさや調べたい場所のよさに気づき、自ら学ぼうとする意欲を高めていくことができると考える。第一次は、ペアの2学年と一緒に学校探検をした後の5月頃に実施する。6月と7月に第二次を、10月に第三次を、11月と12月に第四次を実施する。1チームを2~5人程で構成し、同じ場所を調べていくことで、児童同士が互いに声をかけ合ったり、より多くの気づきを見付けたり、工夫して伝えたりすることができるようにする。「たんけんメモ」を活用して、探検した場所で見付けたことや気付いたこと、先生やお兄さん、お姉さんにインタビューして分かったことなどを、絵と言葉で簡単に表現していく。大きさがワークシートよりも小さいため、かく内容が自然と狭まり、より多くのものや気づきを見付けようとする姿が見られると考えられる。調べて気付いたことや分かったことは、クラスの友達や2年2組の児童、保護者などに伝える場を設ける。その際も、「たんけんメモ」を活用し、絵を見せながら話をするすることで、より分かりやすく相手に伝えることができるようにする。調べたことを伝えていく経験を繰り返すことで、伝え方を工夫したり、伝えることで喜びを感じたり、新たな気づきが生まれやすくなることを考えられる。

単元のゴールとして、「しのめ小ツアー(仮称)」を設定する。2年2組の児童と保護者(現段階では)を招待し、調べた場所について工夫して伝えることで、満足感や達成感を味わったり、様々な人々と関わることの楽しさに気付くことができるようにしたい。また、学校が自分にとって安心して生活できる場所だと実感し、様々な人や施設と関わって楽しく生活していくことができるようにしたい。

## 6 単元の目標

- (1) 調べたい場所を見付け、その場所のよさや関わることの楽しさに気付くことができる。
- (2) 調べた場所を、絵や言葉で表したり、伝え方を工夫したりして、その場所のよさや先生などについて、相手に伝えることができる。
- (3) 学校が自分にとって安心して生活できる場所だと実感し、様々な人や施設と関わって楽しく生活することができる。

## 7 指導計画（全 20 時間）

次	時	学習内容
1 (5月)	1	がっこうには、どんなへやがあるのかな。
2 (6月) (7月)	2	ここをたんけんしてみたいな。
	3	がっこうたんけんにいこう！①
	4～5	クラスみんなにつたえよう！①
3 (10月)	6	2ねんせい（2年2組）につたえよう！①
	7	インタビューしたいことをかんがえよう。
	8	インタビューにいこう。
	9	インタビューしたことをまとめよう。
	10	2ねんせい（2年2組）につたえよう！②
	11	がっこうたんけんにいこう！②
4 (11月) (12月)	12	クラスみんなにつたえよう！②
	13～14	「しののめ小ツアー（仮称）」のけいかくをたてよう。
	15	「しののめ小ツアー（仮称）」のじゅんびをしよう。①（本時 15/20）
	16	「しののめ小ツアー（仮称）」のじゅんびをしよう。②
	17	がっこうたんけんにいこう！③
	18	「しののめ小ツアー（2年2組）」をしよう。
	19	「しののめ小ツアー（保護者）」をしよう。
20	「しののめ小ツアー」をふりかえろう。	

## 8 本時の目標

「たんけんメモ」を活用して話し合いをすることを通して、招待する人の気持ちを考えながら、「しののめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことができる。【思考・判断・表現】

## 9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
A	「たんけんメモ」を活用して、招待する人の気持ちを考えながら、「しののめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことができる。
B	「たんけんメモ」を活用して、「しののめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことができる。
手立て【関連する教師の資質能力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チームごとに班机にして活動することで、互いに「たんけんメモ」を見せ合ったりホワイトボードにまとめたりしながら話し合いを進めていくことができるようにする。【授業実践力】</li> <li>○ 「どうしてこれを伝えようと思うのですか。」「みんなが知って嬉しかったことは何ですか。」などの声かけをし、それぞれのチームのこだわりを引き出すことができるようにする。【授業実践力】</li> <li>○ 自分たちや「しののめ小ツアー（仮称）」に来てもらう人など、様々な視点から考えて伝えたいことを決めることができたことをグループ活動や全体の場で価値付けていく。【授業実践力】</li> </ul>	

## 10 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
<p>1. 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2ねん2くみさんとおうちのかたをしょうたいするるので、たのしみです。</li> <li>・ クイズをだそうとおもいます。</li> <li>・ はやくしたいです。</li> <li>・ どんなことをつたえようかな。</li> <li>・ たくさんつたえたいことがあって、まような。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時で決めたことを振り返ることで、「しのめ小ツアー（仮称）」を行うことへのわくわく感をもつことができるようにする。</li> <li>○ 「しのめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことについて問うことで、今のままでは実施できないことに気付くことができるようにする。</li> </ul>
<p>「たんけんメモ」をつかって、「しのめ小ツアー（仮称）」でつたえたいことをかんがえよう。</p>	
<p>2. 「たんけんメモ」をつかって伝えたいことを考え、ホワイトボードにまとめる。（チーム）</p> <p>&lt;ほけんしつチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いちばんおおいけがについてつたえたいね。すりきずがいちばんおおいことをしてびっくりしたもんね。つたえると、みんながそのけがをしないようにきをつけてくれるかもしれないよ。</li> </ul> <p>&lt;きゅうしょくしつチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ せんせいのすきなきゅうしょくについてつたえたいね。しのめ小学校はカレーがすきなひとがおおいから、クイズにするとたのしんでもらえそうだよね。</li> </ul> <p>&lt;りかしつチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてくろいつくえなのかをつたえたいね。みんな、つくえのいろはしっていても、りゆうまではしらないとおもうな。</li> </ul> <p>3. 伝えたいと決めたことを発表する。（全体）</p> <p>&lt;ばいてんチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ばいてんでよくなるものをつたえようとおもいます。きっとみんなしらないとおもうし、ぼくもはじめてしたからです。</li> </ul> <p>&lt;ずこうしつチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ せんせいのおきにいりのさくひんについてつたえようとおもいます。そのさくひんは、ずこうしつにあるので、みんなに見てもらえるからです。</li> </ul> <p>4. 次回の活動を考え、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたいことが決まったから、次はクイズをついたり絵を描いたりしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホワイトボードの書き方や字の大きさについて、例を示しながら伝えておくことで、全体で交流する際に、短時間で複数のチームの気持ちを確認することができるようにする。</li> <li>○ それぞれのチームのこだわりを引き出すことができるように、「どうしてこれを伝えようと思うのですか。」「みんなが知って嬉しかったことは何ですか。」などの声かけをする。</li> <li>○ チームごとに、伝えたいことをホワイトボードにまとめておくことで、次の活動に繋げることができるようにする。</li> <li>◆ 招待する人の気持ちを考えながら、「しのめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことができる。【思考・判断・表現】</li> <li>○ チームごとにホワイトボードにまとめたものを黒板に貼り、みんなで認め合ったり工夫したりすることができるようにする。</li> <li>○ 自分たちや「しのめ小ツアー（仮称）」に来てもらう人など、様々な視点から考えて伝えたいことを決めることができたことに気付くとともに、さらに「しのめ小ツアー（仮称）」へのわくわく感を高めることができるようにする。</li> <li>○ 次回もチームで協力して、「しのめ小ツアー（仮称）」の準備を進めていくことができるようにする。</li> </ul>